

令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組
 < 南小国町立南小国中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>環境委員会スローガン 「more beautiful 作ろう 環境に優しい南中を」</p>  <p>生徒総会で無言清掃について説明する環境委員</p> 	<p>今年度は環境委員会を中心に話し合い、環境 ISO 宣言項目を以下のように定めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 花壇やプランターで花を育て、花いっぱいの学校を目指します。 ② 掃除の時間はバケツを使用し、無駄な水は使わないように心がけます。 ③ 節電、節水強化月間をもうけ、定期的に放送で呼びかけます。 ④ 無言清掃を行い、身の回りの環境に気付く心を育てます。 ⑤ ペットボトルのキャップを 5 k g 以上集めます。 ⑥ 牛乳パックを集め、イスを作ります。 ⑦ PTA 奉仕作業や地域の奉仕活動で学習環境、生活環境を整えます。 <p>このうち、①②③④については環境委員会が中心に、⑤については生徒会執行部、代表委員会が中心に、⑥については代表委員会が中心となって取り組みを行った。⑦については PTA 行事、ボランティア活動として行った。また、それぞれの項目はクラス討議において、各委員会から議題として提案し、生徒総会で了承を得た。</p>
行動	<p>各学年の花壇の手入れを行う環境委員</p>  <p>無言清掃の様子</p> 	<p>上記の宣言に対して行動に移った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 花壇には春、秋と花を植え替え日常の水やりや除草作業など環境委員会を中心に協力して作業を行った。 ② 掃除の時間は必ずバケツの水を使って雑巾を洗うなど節水に努めることができた。 ③ 節水、節電強化月間をもうけ、ポスターを作成し、毎週末環境委員長が給食時間中に放送で呼びかけた。 ④ 無言清掃は、今年度も生徒総会で環境委員長が無言清掃の意義、ねらいについて丁寧に説明した。掃除時間には、環境委員長や生徒会執行部が無言清掃の徹底や掃除の点検も兼ねて見回りを行った。無言清掃強化月間を設定し、期間中は放送で協力を呼びかけ、その週に無言清掃が特によくできた掃除場所を発表するなど気づきを伝える取組を行った。 ⑤ ペットボトルのキャップ集めについては、ペットボトルキャップ回収ケースを学年ごとに準備し、収集状況がわかるように昇降口に設置した。2月現在は15 k g 収集できており、目標の5 k g

	<p>ペットボトルキャップ収集状況</p>  <p>親子奉仕作業の様子</p>  <p>異年齢集団による地域の清掃活動</p> 	<p>を大きく上回った。今後回収事業者団体に贈呈し、ポリオワクチンにあてていただく予定である。</p> <p>⑥ 牛乳パックは各家庭に呼びかけて20kg以上収集できた。代表委員会が中心となり、全校生徒にも呼び掛けてイスを作成中である。完成したら地域の公民館に贈呈する予定である。</p> <p>⑦ PTAの奉仕作業は体育大会の前に親子での奉仕作業として実施し、グラウンドや花壇の整備を行った。また、今年度はコミュニケーションタイムとして、異学年集団での地域の清掃活動を行った。休日に行われた地域の清掃ボランティア活動に参加した生徒は目標の30%を上回り、54%だった。</p>
記録	<p>掃除の見回り 記録</p>  <p>掃除の反省</p> 	<p>無言清掃の取組では、見回りの生徒が無言清掃や掃除の状況などのチェックを行い、記録に残した。各掃除場所では掃除の終了後にグループごとに反省を行い、担当の先生からの確認、評価を受け次回へとつなげていった。</p> <p>ペットボトルのキャップや牛乳パックの収集については生徒集会の折に、現時点での収集状況などを集計し報告した。</p>
見直し	<p>生徒集会で気づきを伝える環境委員長</p> 	<p>生徒集会では、ペットボトルキャップ、牛乳パックの収集状況を伝えるとともに、目標の数値へ向けて協力の声掛けを行った。</p> <p>環境委員会では、無言清掃の実施状況や手洗い時や歯磨き時の水の使い方、移動教室の際の節電などについて気づきを出し合い、反省を行った。反省は生徒集会で環境委員長から全校生徒へ話をし、帰りの会などで委員会からの連絡として呼びかけた。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 無言清掃は本校の伝統として、受け継がれ生徒の意識も高まりつつある。今後も継続して取り組んでいきたい。 ○ 生徒会主催でコミュニケーション活動を兼ねて地域清掃活動が実施できた。地域の方からの声かけもいただき、地域に貢献するという意識を持つことにつながった。 ○ 地域主催の清掃ボランティアに参加する生徒が年々増えてきている。 ○ 生徒会執行部を中心とした、リサイクルの活動が ISO 活動として少しずつ定着しつつある。各家庭も協力的であり、ペットボトルのキャップについては目標の 5 k g を上回り 1 5 k g を達成することができた。牛乳パックは 2 0 k g 以上収集することができた。 ○ 花壇の手入れや花植えは環境委員会が中心に整備を進めることができた。生育も良く、花の多い明るい学校を目指して環境委員会の意識を高めることができた。 ○ 職員のゴミ削減については、週に 2 回のゴミ出し日において、2 袋ずつ使用することで宣言通りに実行できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無言清掃や時間いっぱい掃除に取り組むことは定着しつつあるが、継続的に意識を高く持つためにはまだ工夫が必要と思われる。今年度は強化月間を設けたが、強化期間中の振り返りの方法を検討し、日頃の清掃活動においても高い意識を持たせたい。 ○ 節水や節電を呼び掛けたが、具体的な水道使用量や電気使用量などを示すことはできなかった。 ○ リサイクル活動は生徒や各家庭の協力もあり、目標の数値も達成できたので、定期的に収集の状況などを家庭にも知らせていくと、ますます協力が得られると感じたので、今後の取組につなげたい。 ○ 牛乳パックのイスづくりは、代表委員会が中心となって活動しているが、今年度は、休校期間も長く作業時間の確保が難しかったため、完成に至っていない。 ○ 今年度は天候や日程の関係で花壇コンクールを実施できなかった。時期の検討や採点基準を示して、来年度の実施に向けて準備を進めていきたい。